

雑 報

宣戦ノ詔書奉讀式

去ル12月8日暫ク健康ヲ害シ休養シテ居タ三田村所長出席ノモトニ。米國及ビ英國ニ對スル宣戦ノ詔書捧讀式ガ行ハレタ。毎月8日ニハ大詔奉戴日トシテ詔書捧讀式ガ行ハレテキルノデアアルガ。12月8日ハ詔書頒發サレテ1年目ニ當リ本所講堂ニ一同相集リ1年前ノ當日ノ感激ヲ新ニシ、滅私奉公以ツテ時艱克服ヲ誓ツタノデアツタ。

學術集談會

去ル12月17日(木)午後1時カラ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。當日ノ演題ハ次ノヤウデアツタ。

1. 生體內ニ於ケル葡萄狀球菌ノ發育ニ及ボス「ヂフテリヤ、トキノイド」ノ影響ニ就テ
松岡辰男
1. 淋菌ノ水溶性成分分割ト其「シユワルツマン」現象
安藤正一
1. 多價蛇毒血清製造ノ研究(第2報)
こぶら毒トはぶ毒トノ合混免疫ニ就テ
田中哲之助
三宅忠雄
1. 「ヂフテリア」治療用血清ノ製法ニ就テ
(第1報、第2報)
永井吉郎 田中哲之助
利部光四郎 中村精子
久保田久 三宅忠雄
出口朗
1. 秋疫流行地方(静岡縣天龍川畔ノ用水病流行地方)ニ於テ捕獲サレル野鼠ノ「レプトスピラー」保有率ニ就テ
北岡正見 小川道郎
1. 「ウラチール」其他ノ藥劑ガ「コルヒチン」作用ヲ受ケタル組織細胞ニ及ボス影響
中村敬三 箕茂上
1. 余等ノ考案セル新型無菌箱ニ就テ
中村敬三 箕茂上

1. ウィールス病ノ血清療法ノ問題

—脊髄前角炎ヲメグツテ—(綜説)

川喜田愛郎

學友會へ寄附

- | | |
|----------|--------|
| 金65圓63錢也 | 羽田一重君 |
| 金12圓21錢也 | 脇滋男君 |
| 金5圓35錢也 | 田中哲之助君 |
| 金59圓15錢也 | 河野重成君 |
| 金38圓08錢也 | 板倉文彌君 |
| 金39圓37錢也 | 長谷部一郎君 |
| 金64圓94錢也 | 永井吉郎君 |

人事異動報告

- | 月日 | 辭令 | 官職 | 氏名 |
|--------|--------------------------------|--------------------|-------|
| 11. 1 | 傳染病研究所業務ヲ囑託ス | | 都築傑 |
| 12. 10 | 石川縣下へ出張ヲ命ス | 教授 | 長谷川秀治 |
| | 學術上取調ノ爲 | 自12月17日
至12月20日 | 10日間 |
| 12. 16 | 研究生退學 | | 柄木武營 |
| 12. 16 | 宮城縣下へ出張ヲ命ス | 囑託 | 黃當時 |
| | 學術上取調ノ爲 | 自12月17日
至12月19日 | 2日間 |
| 12. 19 | 任東京帝國大學助教授 | | 栗本珍彦 |
| | 敘高等官五等
本俸八級俸下賜
補傳染病研究所所員 | | |
| | 傳染病研究所所員職務俸金350圓下賜 | | |
| 12. 28 | 四級俸下賜 | 技師 | 山極三郎 |
| 12. 28 | 六級俸下賜 | 同 | 矢追秀武 |
| 1. 9 | 長崎縣下へ出張ヲ命ス | 囑託 | 清水重矢 |
| | 學術上取調ノ爲 | 自1月10日
至2月8日 | 30日間 |
| | | 同 | 田淵幸子 |
| 1. 10 | 研究生繼續許可 | 研究生 | 道又喜四郎 |

雜 報

新年祝賀式

昭和18年1月1日大東亞戦争第2年目ノ新年ヲ迎フルニ當リ午前11時傳研職員一同本所講堂ニ參集シ。三田村所長出席ノモトニ。聖壽ノ萬歳ヲ唱シ奉リ。決戦體制下意義深イ新年祝賀式ガ舉行サレタ。式後一同食堂ニ集リ祝賀ノ宴ガ催サレタ。

學術集談會

去ル1月21日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。陸軍軍醫學校ノ増田教官ガ簡易結核菌分離培養基ヲ供覽シ。石井所員ガ「デング熱ニツイテ。柳澤囑託ガ「ツベルクリン反應ニツイテソレソレ御發表ニナリ盛會デアツタ。當日ノ演題ハ次ギノヤウデアツタ。

1. 煙草ニ關スル衛生學的研究第1編 特ニ煙草葉ノ「アレルギー」ニ關スル實驗的研究
清水孝夫
2. 十二指腸蟲症ノ貧血喚起ノ發生機轉ニ關スル實驗的研究(第1編。第2編)
村田恭造
3. 第四性病病毒雌雄動物性器接種セシ場合ノ性器。直腸竝ニ其ノ周圍淋巴腺。病變ノ性的差異
山本哲雄
4. 「チフス菌ノ抗原物質ニ關スル研究 Vi-S. S. (Vi-Specific Substanoe)ノ分離竝ビニ其ノ血清學的性狀
芦田光三
5. 結核培養基供覽
増田知貞
6. 「デング熱ニ關スル研究(第一報) 長崎市ニ於ケル流行ニ就テ
石井信太郎
鴨脚光増
福田雅夫
矢島嘉清

7. 「デング熱ニ關スル研究(第二報) 媒介蚊ニ關スル研究
三 菅 靖 子
石井信太郎
三 菅 靖 子
鴨脚光増
福田雅夫
矢島嘉清
8. 「デング熱ニ關スル研究(第三報) 家兎前眼房内接種實驗
石井信太郎
矢島嘉清
三 菅 靖 子
9. BCG「ワクチン」接種後ノ「ツベルクリン」反應ニ就イテ(綜説)
柳澤謙

學友會へ寄附

- 金14圓47錢也 細谷省吾君
金16圓18錢也 安藤正一君

人事異動報告

昭和18, 2, 26現在

月日	辭令	官職	氏名
8.15	敘從五位		石井信太郎
12.28	科學技術審議會委員被仰付	教授同	宮川米次郎 三田村篤志郎
1, 8	傳染病研究所業務ヲ囑託ス(學術振興會支辨)		大串卓郎 大宮野と 三 菅 ャス子
1, 15	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當1ヶ月金45圓給與(科學研究費支辨)		常松之典
1, 18	研究生退學許可		松岡辰男
1, 26	依願免本官	藥劑手	鈴木大之亮
2, 1	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當1ヶ月金60圓		小池芳江

雑 報

平賀總長ノ大學葬

去ル2月17日東大總長平賀讓男爵ハ全學哀悼ノウチニ御逝去セラル。總長事務取扱 理學部 寺澤寛一教授葬儀委員長トナリ、2月23日午後1時半ヨリ本學大講堂ニ於テ佛式ニヨリ 大學葬カイト 嚴肅ニ舉行サレタ。

二木先生令夫人ノ御逝去

去ル2月24日二木謙三先生ノ令夫人ガ市内淀橋區西大久保1,366ノ御自宅ニ於テ永眠サレタ。謹ソテ哀悼ノ意ヲ表スルト共ニ 先生ノ自愛ノ程ヲオ祈スル次第デアアル。

遠山技師嚴父ノ御逝去

去ル2月28日遠山先生ノ嚴父ガ御逝去ニナツタ。87歳ノ御高齢ニ拘ラズ數日前走步テ澁谷區伊達町79ノ御自宅カラ西大久保ノ二木先生ノ御宅マテ 往復サレタ由承ツタ。謹ソテ弔意ヲ捧ゲマス。

學術集談會

去ル2月18日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。今度ノ集談會ニハ血液型ノ世界の大家デアアル 古畑教授ニオ願ヒシ、日頃ノ蘊蓄ヲ傾ケテイタダキ。我々細菌學ニ志スモノニトツテ非常ニ有益デアツタ。尙當日ノ演題ハ次ギノ通りデアツタ。

1. Trypanosoma lewisi (Kent)ノ傳播者トシテノ家蟻ニ就テノ實驗的研究 宮田 繁 徳
2. 葡萄狀球菌性疾患ノ局所療法ニ關スル基礎的研究 二神 由 紀 彦
3. 嫌氣性放線狀菌ノ含水炭素分割ト其ノ沈降反應抗原トシテノ血清診斷的意義(第2回報告) 板 倉 文 彌
4. 志賀菌體毒素ノ研究 久 保 田 滿 夫
5. 志賀菌毒素ノ免疫學的研究 久 保 田 滿 夫
質 問 日 大 志 賀 直
6. 結核ノ免疫機構ニ關スル研究 細 沼 榮 一
7. 結核ノ免疫元性物質ニ關スル研究 大 林 容 二

- 岩 崎 龍 郎
- 大 森 勝
- 草 野 信 男
- 平 福 一 郎
- 太 田 邦 夫
- 諏 訪 紀 夫
- 森 藤 靖 夫

8. 新居町アサリ中毒ノ病理解剖 草野信男 平福一郎 太田邦夫 諏訪紀夫 森藤靖夫
9. 流行性感冒病毒ニヨル二十日鼠ノ肺炎ニ對スルズルフォン、アミド誘導體ノ影響 福見秀雄 平山毅 荒川清二 小島三郎

追 加

追加附議

11. 「テング熱病毒ニ關スル實驗的研究」
第一報 諸動物ノ感染試験ニ就テ(二十日鼠、家鼠、モルモト、家兎、猿)(附1人體試驗) 矢 追 秀 武 荒 川 清 二
11. 同
第二報 組織培養ニ就テ(メートランド法並ビニ孵化鶏卵培養) 矢 追 秀 武 荒 川 清 二
12. 同
第三報 物理的影響ニ就テ 矢 追 秀 武 荒 川 清 二
13. 同
第五報 中和試驗並ビニ實驗的血清療法ニ就テ 矢 追 秀 武 荒 川 清 二
14. 同
第四報 化學療法ニ就テ 矢 追 秀 武 荒 川 清 二

追 加 特 別 講 演

1. 「フォルスマン」抗體ト型質ニ就テ 古 畑 種 基

人事異動報告

(昭和18. 3. 19 現在)

月日	辭令	官職	氏名
2. 1	研究生入學許可		中澤 仁
2. 13	依願免本官	技手	宗像 昇
2. 24	京都、大阪、愛知ノ二府一縣下へ出張ヲ命ス	技師	矢追 秀武
	學術上取調ノ爲	自 2月25日 至 3月 1日	5日間
2. 24	京都、大阪ノ二府下へ出張ヲ命ス	技手	荒川 清二
	學術上取調ノ爲	自 2月25日 至 2月28日	4日間
2. 28	任傳染病研究所技手		輕部彌生一 宮崎正之助

		大 藪 卓
		多ヶ谷 勇
		水野 傳一
2. 28	傳染病研究所業務囑託ヲ解ク	
		輕部生彌一
		宮崎正之助
		大 藪 卓
		多ヶ谷 勇
		水野 傳一
2. 28	傳染病研究所業務ヲ囑託ス	留岡 展男
		高橋 秀雄
		山崎 正郎
		久保田 久
3. 24	傳染病研究所業務ヲ囑託ス	添田 百枝

報 雑

學會ダヨリ

大東亞戰爭始マツテ以來2年、超非常時テアルニ拘ラズ、大御稜威ノ下、皇軍將兵ノ日夜奮戰戰果ノ賜物トシテ、今春モ各學會ノ幕ガ賑々シク切ツテ落サレタ。即チ第17回聯合微生物學會ハ名古屋帝大ニ於テ鶴見三三會長ノモトニ3月26~28日ニ互リ、開催サレタノヲ始メトシ、日本病理學會、寄生蟲學會、日本傳染病學會、日本聯合衛生學會、結核病學會、日本內科學會、日本農學會其ノ他ノ學會カ相次テ盛大ニ開催サレタ。本所カラモ多數ノ演題ヲ提出シ、日頃ノ研究ヲ發表シタ。因ニ長年耳馴レテキタ聯合微生物學會ノ名稱モ日本細菌學會ト改稱サレ、明年ハ京都ニ於テ木村廉會長ノモトニ第18日本細菌學會トシテ開催サレルコトニ決定シタ。

名古屋市ニ於ケル傳研懇親會

本所先輩各位ノ多數ガ第17回聯合微生物學會ニ出席サレル機會ヲ利用シ、舊交ヲ温メ且ツハ地元先輩各位トノ親睦ヲハカルタメ、例年ノ如ク本所學友會懇親會ガ學會第2日目(3月27日)ノ午後5時半カラ名古屋ホテルニ於テ開催サレタ。地元テハ松波、山田、田村ノ諸博士ヲ始メ、多數ノ先輩ガ出席サレ、又各地ノ大學ノ中村(北海道)、黒屋(東北)、谷口(大阪)、大田原(熊本)、武田(臺北)ノ諸先輩、滿洲ノ北野部隊長、上海ノ進藤博士ヲ始メトシソノ他多數ノ先輩ガ御常連トシテ御多忙ノ時間ヲ割イテ出席サレタ。三田村所長所勞ノ爲メ缺席サレタガ高木教授所長代理トシテ挨拶サレ、次イテ田宮教授司會ノモトニ、各先輩ノ思ヒ出テ話ニ樂シイ一時ヲ過シタ。本所ノ職員モ多數出席シ、全出席者78名トイフ近來ニナイ盛會デアツタ。

コノ懇親會ヲ開クニ當リ 實行委員トシテ活動シテイタダイタ聖成、西下ノ兩先輩ニ深謝スル。

所内稻荷神社ノ祭典

毎年春トモナレバ梅林ニ鎮坐マシマシタ オ稻荷様ノ祭典ヲ兼ネテ樂シイ 家族的ナ 園遊會ガ開カレタコ

トハ先輩各位ノ忘レ得ナイ思ヒ出テアラウ。ソノ後時代ノ變遷ト共ニ オ稻荷様モ 現在ノ位置ニオ選リニナリ毎年祭典ガ行レテキタ。今年モ3月1日午前11時カラ簡素テハアルガ祭典ガ執行サレタ。

職員食堂休止日

傳研ノ食堂ニモ時局ノ影響ガ現ハレテ來タ。撃チテ止マンノ決意ガアレバ、コノヤウナコトハ當然ノコトト考ヘラレル。先輩各位テ傳研ヲ訪ネラレル時場合當分ノ間火曜日、土曜日ノ兩晝ハ食堂ガ休止テスカラ何卒オ辨當ノ御用意ヲオ願ヒスル次第デアル。

學術集談會

去る3月18日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。今月ハ學會ガ目眩ニ迫ツテキタタメ、例外トシテ、綜説又ハ特別講演ヲ止メルコトニシタ。當日ノ演題ハ次ノ通りデアツタ。

1. 廿日鼠カラ分離サレタ一種ノ向肺性病毒ニ就イテ
福見 秀雄
追加 北岡 正見
2. 病原性腸内細菌竝ニ結核菌ノ温熱抵抗ニ關スル實驗的研究
森 勇雄
3. コレラ菌ノS・R變異ニ關スル研究
岡本 啓
目黒 庸雄
小島 仁郎
追加 小島 三郎
4. 職業病トシテノウイルス病
飲食業者ノ顯性竝ビニ不顯性感染ニツイテ
北岡 正見
小川 道郎
今井 三喜
5. テング熱ニ關スル研究(第五報)
媒介蚊ノ越冬法ニ就テ
石井 信太郎
三 苦 靖子
大 串 卓 朗

人事異動報告

3. 1 傳染病研究所業務ヲ囑託ス
囑託 江崎 唯人
「學術振興會研究費支辨」
3. 6 静岡縣下へ出張ヲ命ス
技手 森藤 靖夫
學術上取調ノ爲 濱名郡新居町へ
同 草野 信男
3. 6 神奈川縣下へ出張ヲ命ス
技手 荒川 清二
學術上取調ノ爲 自3月8日 2日間
至3月9日
囑託 多ヶ谷 勇
三崎臨海實驗所へ
3. 11 傳染病研究所業務ヲ囑託ス
囑託 相馬 豊造
「學術振興會研究費支辨」
3. 23 大阪、愛知ノ一府一縣下へ出張ヲ命ス
技手 田中哲之助
第17回聯合微生物學會ニ出席竝ニ學術上
取調ノ爲 自3月24日 8日間 名古屋市へ
至3月31日 大阪市へ
同 利部光四郎
3. 24 愛知縣下へ出張ヲ命ス
名古屋帝大ニテ開催ノ第17回聯合微生物
學會へ出席ノタメ 自3月25日 5日間 名古屋
至3月29日
教授 田宮 猛雄
同 小島 三郎
同 細谷 省吾
同 長谷川秀治
助教授 石井信太郎
同 北岡 正見
同 長野 泰一
同 岡本 啓
同 栗本 珍彦

- 技師 矢追 秀武
技手 川島 四郎
同 脇 滋男
同 宮崎正之助
技手 大藪 卓
同 目黒 庸雄
同 荒川 清二
同 福見 秀雄
同 平山 毅
同 天神 智
同 草野 信男
同 宮村 守人
同 松本 稔
同 田崎 忠勝
囑託 佐伯 潔
同 飯島 孔
同 久保田 久
囑託 本多 正明
同 元文伊一郎
同 中村 敬三
3. 27 任軍事保護院醫官 技手 福井 覺
叙高等官七等
3. 31 宮城縣下へ出張ヲ命ス
助教授 北岡 正見
傳染病學會及內科學會へ出席ノタメ 自4
月1日至4月5日 5日間 仙臺市へ
4. 2 京都府下へ出張ヲ命ス
教授 宮川 米次
結核病學會ニ出席ノタメ 自4月4日 5日間
至4月8日
京都市へ 技手 鈴木 勝治
「旅費ハ委任經理支辨」 同 輕部彌生一
同 今野龜之助
囑託 田中 英夫

報 雜

高木教授御母堂ノ御逝去

去ル4月29日高木先生ノ御尊母様ガ遠眠サレ。5月1日午後1時ヨリ東京市品川区上大崎長者丸282ノ自宅ニテ告別式ガ舉行サレタ。謹ンテ哀悼ノ意ヲ捧ゲル次第デアアル。

學術集談會

去ル4月22日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。今度ノ集談會ニハ先般學士院賞ノ榮譽ヲ負ハレタ遺傳學ノ大家、京都帝大農學部教授木原均博士ニ日頃ノ蘊蓄ヲ傾ケテイタダキ、吾々ニトツテ裨益サレルコト大デアツタ。御多忙ニ拘ラズ、時間ヲオサキニナツテ吾々ノ爲メニ御講演下サイマシタ木原教授ニ滿腔ノ謝意ヲ呈シマス。尙當日ノ演題ハ次ギノ通デアツタ。

1. 組織培養法ニヨル肝臟組織ノ發育ニ關スル實驗的研究 道又喜四郎
2. Leishmania 原蟲培養ノ因子ニ關スル研究
第一 Leishmania 原蟲培養ト溫度 福田雅夫
3. Leishmania 原蟲培養ノ因子ニ關スル研究
第二 培地用血液ニ就テ 福田雅夫
4. 「リイシマニア」ノリーケンベルク氏反應ニ關スル研究 矢島嘉清
5. 流行性感冒病毒ニヨル實驗的疾患血清療法ノ研究 福見秀雄
6. 緬羊腰麻痺病ニ於ケル腦脊髓ノ病理解剖學的竝ニ組織學的研究
山極三郎
莊保忠三郎
岩村兼明
二宮道成
山手裕二
7. 狂犬病豫防液接種後腦炎ノ病理組織學的研究
岩森秀夫
山極三郎

8. 傳貧馬ニ於ケル肺臟ノ病理學的研究
岩村兼明
三浦定夫
山極三郎
9. 「レントゲン」線ニヨル病毒ノ不活化ニ就テ
矢追秀武
荒川清二
10. 「 Dengue 」熱病毒ニ關スル實驗的研究
第6報 「マウス」通過病毒ノ人體接種成績ニ就テ
矢追秀武
荒川清二
三田村篤志郎

特別講演

遺傳學ト大東亞建設 木原均

學友會ニ寄附

- | | |
|------------|--------|
| 金 16圓12錢 | 松本稔君 |
| .. 4圓16錢 | 西宮恒君 |
| .. 10圓53錢 | 清水孝夫君 |
| .. 138圓77錢 | 長谷部一郎君 |
| .. 21圓80錢 | 栃木武營君 |
| .. 27圓67錢 | 渡邊侃君 |
| .. 13圓33錢 | 遠藤博君 |

人事異動報告

昭和18.5.5現在

月日	辭令	官職	氏名
3. 31	依頼傳染病研究所業務囑託ヲ解ク		囑託 大西 繁
..	依頼傳染病研究所圖書製作囑託ヲ解ク		囑託 郡司 福秀
4. 1	委託研究生入學	陸軍獸醫大尉	仲田 包著
4. 12	研究生入學許可		大川 淳
..	..		稻葉 長七
4. 19	研究生退學	委託研究生	森 雅雄
5. 1	研究生入學		横田 信太



雜 報

傳染病研究所創立41周年 記念日記事

傳染病研究所創立41周年記念式ハ6月1日午前10時ヨリ左記ノ次第ニヨツテ行ハレタ。

- 一、君ガ代 二唱
- 一、國民儀禮
- 一、勤續者ニ對スル賞狀並ニ賞品ノ授與
- 一、所長式辭
- 一、來賓祝辭(石原喜久太郎博士、小林六造博士)
- 一、閉式

式後正面玄関前ニテ記念撮影ノ後、食堂ニ於テ午餐會ガ催サレ、席上、宮島幹之助、石原喜久太郎、野邊地慶三、藤田宗一、二木謙三、諸博士ノ演說ノ後、二木博士ノ御發聲ニテ 聖壽ノ萬歳ヲ三唱シテ和氣蕩々裡ニ散會。

午後ハ講堂ニ於テ春秋會ノ主催ニヨル映畫(「村ノ保健婦」、「暖流」、「兄ト妹」)ノ映寫ガ行ハレタ。

今回ノ記念日ニ於テ、勤續20年、或ハ10年ニ達シ、表彰ヲウケタ 傭人勤續者ノ氏名ハ次ノ如クデアル。

- 勤續20年……本間繁枝、小林基一、
- 勤續10年……石井壽子、富田たか、森田茂代子、菅野新吉、

來賓御芳名(敬稱略、五十音順)

赤塚京治、池田錫、石川知福、石原喜久太郎、内野仙一、大角眞八、岡西順二郎、加藤義夫、川上理一、工藤正四郎、小林六造、齋藤潔、清水文彦、徐昌道、田澤録二、中村豊、西尾憲三、根村當三郎、野邊地慶三、林亥之助、肥田音市、檜山兼次郎、二木謙三、藤田宗一、宮島幹之助、村田正太、吉川春壽、渡邊義政、

尚、記念式ニ於ケル所長式辭、來賓祝辭、並ビニ午餐會席上ノ來賓ノ御演說ハ用紙ノ都合上、本年ハ本誌ニ掲載セズ、別ニ印刷シテ小冊子トナシ、關係諸方面

ニ配布スルコトニシタ。部數ニ若干ノ餘裕ガテキル筈デアルカラ、御希望ノ方ハ當所事務部庶務係マテ御申出相成リタシ。

學術集談會

去ル5月20日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。岡本所員ノ細菌ニ於ケル解離變異ニツイテノ綜說ハ味深イモノデアツタ。當日ノ演題ハ次ギノ通りデアル。

1. 體溫上昇時ニ於ケル蛋白質代謝ニ就テ
第4編 體溫上昇ト消化管ニ於ケル蛋白質吸收トノ關係 五十嵐正治
2. 酸性加熱沈降反應ニ依ル瓦斯壞疽病ノ診斷ニ就テ 小泉全孝
3. 「ウエルシュ」菌抗毒素馬血清製造ニ關スル研究 飯高孔
4. 「ウィールス」ノ定量ニ關スル基礎的研究 日本流行性腦炎「ウィールス」ニツイテノ實驗 松本稔
5. 「インフルエンザ」病毒ニヨル二十日鼠及ビ「フェレット」ノ病變ノ組織病理學 草野信男
6. 流行性腦炎ノ血清療法ニ關スル實驗的研究(第2報) 川喜田愛郎
追加 北岡正見
7. 靜岡縣秋疫流行地竝ビニ岡山縣作州熱流行地ニ於テ捕獲セル野鼠ヨリ分離セル「レプトスピラ」ニ就テ 北岡正見
小川道郎
村上榮
8. 靜岡縣秋疫、岡山縣作州熱竝ビニ高知縣黃疸疫恢復患者血清ヲ以テセル各種「レプトスピラ」ニ對スル免疫學的試驗 附 秋疫患者カラ分離セル「レプトスピラ」ニツイテ 北岡正見
小川道郎
村上榮
宇都宮三澄

9. 細菌ノ解離變異(綜説)

特=抗元物質トノ關係ニ就イテ

岡 本 啓

金 14 圓 67 錢

細 谷 省 吾 君
脇 田 滋 男 君
西 宮 卓 世 君
 恒 君

學友會へ寄附

- 金 56 圓 62 錢 羽 田 幸 雄 君
- 金 81 圓 52 錢 小 泉 全 孝 君
- 金 11 圓 38 錢 小 泉 豐 君
- 金 14 圓 59 錢 福 井 覺 君
- 金 30 圓 36 錢 笠 原 順 一 郎 君
- 金 67 圓 64 錢 永 井 吉 郎 君
- 金 12 圓 41 錢 { 田 中 哲 之 助 君
 利 部 光 四 郎 君
 久 保 田 久 君
 三 宅 忠 雄 君
 中 村 精 子 君
 出 口 朗 君
- 金 9 圓 69 錢 { 田 中 哲 之 助 君
 三 宅 忠 雄 君
- 金 24 圓 44 錢 中 村 孝 一 君
- 金 14 圓 47 錢 { 細 谷 省 吾 君
 脇 田 滋 男 君
 西 宮 卓 世 君
 恒 君

人事異動報告

昭和 18. 6. 7 現在

月日	辭 令	氏 名
4. 21	研究生繼續ノ件許可	為 政 脩
4. 30	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當 1ヶ月金 45 圓給與	中 村 和 夫
„	傳染病研究所業務ヲ囑託ス 「文部省科學研究費支辨」	村 田 恭 造
„	研究生退學ヲ命ス	村 田 恭 造
5. 6	研究生入學	奥 山 孝 門
5. 25	傳染病研究所業務ヲ囑託ス 「文部省科學研究費支辨」	美 馬 律 郎

雑 報

故山本元帥國葬遙拜式

大東亞戦争モ愈々重大トナリ、日夜寸刻ノ暇ナク
 奇烈ナ戦闘ガ繰返サレテキル。山本元帥ノ御散華、
 アツツ島ノ玉碎ノ報ニ接シ、銃後國民ハ職域奉公以
 ツテ英靈ニ續ク覺悟ヲ新タニシタ。6月5日ノ山本元
 帥國葬日ニ當リ、午前10時職員一同本所講堂ニ參集
 シ、遙拜式ヲ舉行シ、海ゆかばヲ2回齊唱シ、仇敵
 撃チテ止マンヲ誓ツタノデアツタ。

食糧増産

大東亞戦争ガ奇烈ヲ加フルニツレ、銃後國民モ庭
 ヲ眺メテキル時期デナクナツタ。、閑地ヲ利用セヨ“
 コレガ合言葉トナツテ來タ。傳研ニ於テモ正門カラ
 正面玄関ニ至ル左側ノ閑地ニ全職員一致協同シテ甘
 藷ノ植付ケヲシタ。コレニヨツテ1000貫ノオ芋ガト
 レル豫定デアル由、今秋ノ收穫ガ期待サレル。

學術集談會

去ル6月17日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ學
 術集談會ガ開催サレタ。今度ノ集談會ニ栗本所員ニ
 綜説ヲオ願ヒシデアツタガ都合テ先任地ノ臺灣ノ衛
 生ニツイテオ話サレタ。當日ノ演題ハ次ギノ通りデ
 アツタ。

1. 鼠癩ノ家鶏接種 谷 奥 喜 平
2. 「チフス」性疾患ノ化學療法ニ就イテ
 (第2回報告) 平 山 毅
 福 見 秀 雄
3. 破傷風血清ノ注射路ニ就テ 佐 伯 潔
4. Vibrion septique 抗毒素血清ノ製法(第2報)
 宮 崎 正 之 助
5. 葡萄狀球菌「トキシイド」製法ノ進歩
 脇 滋 男
 二 神 由 紀 彦
6. 大黒鼠カラ分離サレタ一種ノ向肺性病毒ニ

就イテ

ソノ病理

7. 昭和13年夏期、山形縣莊内地方ニ起ツタ腦炎
 ノ人馬同時流行ニ就テ

福 見 秀 雄

草 野 信 男

城 井 尙 義

久 池 井 忠 男

北 岡 正 見

8. 臺灣ノ衛生

栗 本 珍 彦

學友會ニ寄附

- | | |
|--------------|-----------|
| 一金 17 圓 28 錢 | 岩 田 昌 一 君 |
| 一金 66 圓 46 錢 | 重 福 太 郎 君 |
| 一金 23 圓 70 錢 | 津 本 淳 三 君 |
| 一金 12 圓 32 錢 | 遠 藤 博 君 |

人事異動報告

昭和18. 7. 14 現在

- | 月 日 | 記 事 | 職 氏 名 |
|-------|---|------------|
| 6. 1 | 京都府下へ出張ヲ命ス
學術上取調ノ爲 自6月2日 4日間
至6月5日 | 教授 長谷川秀治 |
| 6. 1 | 研究生入學許可 | 坂 卷 良 男 |
| 6. 4 | 宮城縣下へ出張ヲ命ス
學術上取調ノ爲 自6月4日
至6月7日 | 助教授 石井信太郎 |
| 6. 13 | 岐阜縣下へ出張ヲ命ス
學術上取調ノ爲 自6月14日
至6月20日 | 技師 山 極 三 郎 |
| 6. 22 | 依願免本官 | 技手 五十嵐正治 |
| 6. 24 | 愛知、岡山ノ二縣下へ出張ヲ命ス
名古屋帝大ニ開催ノ精神病學會ニ出席
竝ニ學術上取調ノ爲 自6月26日
至7月3日 | 助教授 北岡 正見 |
| 6. 24 | 依願傳染病研究所業務囑託ヲ解ク | 羽田 一重 |
| 6. 30 | 依願免本官 | 技手 金澤 謙一 |

雑 報

岡部文部大臣ノ視察

去ル7月30日午後1時ヨリ、岡部文部大臣ノ傳研視察ガアツタ。決戦下御多忙ノトコロ、マタ大暑ノトコロ、3時間餘ニ涉リ所内隈ナク視察サレタ。尙當日内田大學總長モ大臣ト共ニ視察サレタ。

學術集談會

例年ノ如ク7-8月ノ2ヶ月ノ學術集談會ハ休ミマス。9月ニハ再ビ開催イタシマス。

學友會へ寄附

金 40 圓 76 錢	中 神 清 一君
金 37 圓 93 錢	福 井 覺君
金 58 圓 92 錢	二 神 由 紀 彦君
金 35 圓 61 錢	脇 滋 男君
金 14 圓 85 錢	宮 崎 正 之 助君
金 11 圓 38 錢	金 澤 謙 一君

人事異動報告

昭和 18. 8. 14 現在

月日	記 事	職	氏名
6. 30	賜本俸三級俸	教授	宮川 米次
	賜本俸七級俸	同	小島 三郎
	本俸十級俸下賜	助教授	川喜田愛郎
	四級俸下賜	技師	遠山 祐三
7. 12	研究生入學		伴 良知
	研究生繼續		三木 征治
7. 20	依願解囑		留岡 展男
	依願解囑		岩村 兼明
7. 26	依願傳染病研究所生物化學研究業務囑託ヲ解ク		八田善之進
7. 26	依願傳染病研究所治療研究業務囑託ヲ解ク		田澤 鍊二
7. 31	依願解囑		齋藤 靜江
7. 31	傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當1ヶ月金五拾圓給與		有吉 歌子

正 誤

第 27 卷第 6 號第 615 頁左側「學友會へ寄附」ノ項中 5 行目
(誤) 金 30 圓 36 錢 (正) 金 30 圓 26 錢

雑 報

待避壕設置

空襲必至ト雖ヘドモ備アレバ恐レナシノ標語ノモトニ。去ル9月8日大詔奉戴日ヲ期シテ本所職員一同協力シ。空地ニ待避壕ヲ設置シタ。本所職員ノ待避所ハ既ニ定メラレテキルノデアアルガ。今度ノ待避壕ハ主トシテ屋外ニアツテ作業シテキルモノ。及ビ外來ヘ通行スル人ノタメノモノデアアル。

學術集談會

眞夏ノ7-8月ニ休ンテキタ學術集談會モ燈火親シムベキ秋風ト共ニ再ビ開催サレタ。即チ去ル9月16日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ左記ノ如ク多數ノ研究ガ發表サレタガ。殊ニ淺野所員ノ結核菌體成分中 枝鎖脂肪酸ノ合成ハ菌體成分ノ生物學的作用ノ研究ノ上ニ一新機軸ヲ劃スルモノトシテ注目ニ値シタ。當日ノ演題ハ次ギノ通りデアツタ。

1. マンソン裂頭條蟲染色體ノ研究
柳井時正
2. 十二指腸蟲ノ非固有宿主經口的感染時ニ於ケル肺移行徑路ニ關スル實驗的研究
柳井時正
3. 十二指腸蟲ノ種屬特異性ト固有宿主ノ血液臟器成分トノ關係ニ關スル實驗的研究
鈴木勝治
4. 沖繩産はぶ毒ト奄美大島産はぶ毒トノ免疫學的比較
田中哲之助
三宅忠雄
5. 舊蘭印産蛇毒ノ免疫學的研究特ニ本邦産並ニ佛印産蛇毒トノ比較
田中哲之助
三宅忠雄
6. 鼠「チフス」菌及ビ腸炎菌ノ縮綫狀集落變異ニ就イテ
豊田哲夫
岡本啓
7. 「コレラ」菌ノSR變異ニ伴フ特異物質ノ變異ニ就イテ
岡本啓
目黒庸雄

8. 「コレラ」菌特異物質ノ「モルモット」家兎並ビニ人ニ於ケル抗原性ニ就イテ
岡本啓
目黒庸雄
9. 「ヒョリ」ンエステラーゼト「アナフィラキシー」耐性トノ關係ニ就イテ
中村敬三
土井利明
10. 結核菌ニ含マル、枝鎖脂肪酸ニ就イテ(綜説)
淺野三千三

學友會ヘ寄附

- | | |
|---------------|---------|
| 一金 22 圓 93 錢 | 二 神由紀彦君 |
| 一金 183 圓 86 錢 | 山本哲雄君 |
| 一金 10 圓 91 錢 | 中村敬三君 |
| 一金 15 圓 99 錢 | 板倉文彌君 |
| 一金 62 圓 26 錢 | 宮田彝徳君 |
| 一金 9 圓 79 錢 | 大橋久治君 |
| 一金 40 圓 74 錢 | 安藤正一君 |

人事異動報告

昭和 18. 10. 5 現在

- | 月 日 | 記 事 | 職 氏 名 |
|-------|-----------------------------|----------------------------------|
| 7. 31 | 任傳染病研究所技手
給入級俸 | 増山忠俊
常松之典
大高裕一 |
| 7. 31 | 解囑 | 増山忠俊
常松之典 |
| 8. 3 | 任傳染病研究所技手
給九級俸 | 厚生省研究所技手
佐藤和男 |
| 8. 17 | 岐阜縣下ヘ出張ヲ命ズ
學術上取調ノ爲 | 技手 田中哲之助
自8月20日10日間
至8月29日 |
| 8. 20 | 依願免本官 | 技手 中村敬司 |
| 8. 31 | 傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當
1ヶ月金75圓給與 | 嵩終三 |
| 8. 31 | 研究生退學(技術雇採用) | 外山昂志 |
| 9. 1 | 東京帝國大學科學研究動員委員
會委員ヲ委囑ス | 教授 三田村篤志郎 |

- 9 岡山縣下へ出張ヲ命ズ
 助教授 北岡 正見
 學術上取調ノ爲 自9月10日 4日間
 至9月13日
- 10 大阪府下へ出張ヲ命ズ 技 師 矢追 秀武
 學術上取調ノ爲 自9月11日 5日間
 至9月15日
 助教授 石井信太郎
 技 手 荒川 清二
 技 手 鴨脚 光増
 囑 託 三苦やす子
- 14 茨城縣下へ出張ヲ命ズ 助教授 北岡 正見
 學術上取調ノ爲 自9月16日 4日間
 至9月19日
- 14 青森、北海道ノ一縣一道下ニ出張ヲ命ズ
 囑 託 矢島 嘉清
 學術上取調ノ爲 自9月16日 14日間
 至9月29日
- 15 大阪府下へノ出張延長ヲ命ズ
 技 師 矢追 秀武
 取調事項増加ノ爲 自9月16日 3日間
 至9月18日
- 技 手 荒川 清二
9. 15 北海道、青森ノ一道一縣下へ出張ヲ命ズ
 技 師 遠山 祐三
 學術上取調ノ爲 自9月30日 8日間
 至10月7日
9. 15 研究生繼續許可 川端 豊作
9. 20 群馬縣下へ出張ヲ命ズ 教 授 太田 正雄
 癩學會出席ノ爲 自9月25日 10日間
 至10月4日
 囑 託 齋藤 弘徳
 囑 託 宮内 繁子
9. 25 依願免本官 技 手 荒川 清二
9. 25 傳染病研究所業務ヲ囑託ス 水谷一克巳
 阿部貞太郎
 宮崎 金波
 日置 治男
 矢 戸 亮
 佐 川 誠
 及 川 泰彦
 岡 田 昊昌

雜 報

待避壕設置

空襲必至ト雖ヘドモ備アレバ恐レナシノ標語ノモトニ。去ル9月8日大詔奉戴日ヲ期シテ。本所職員一同協力シ。空地ニ待避壕ヲ設置シタ。本所職員ノ待避所ハ既ニ定メラレテキルノデアアルガ。今度ノ待避壕ハ主トシテ屋外ニアツテ作業シテキルモノ。及ビ外來ヘ通行スル人ノタメノモノデアアル。

學術集談會

眞夏ノ7—8月ニ休ンテキタ學術集談會モ燈火親シムベキ秋風ト共ニ再ビ開催サレタ。即チ去ル9月16日(木)午後1時ヨリ本所講堂ニ於テ左記ノ如ク多數ノ研究ガ發表サレタガ。殊ニ淺野所員ノ結核菌體成分中 枝鎖脂肪酸ノ合成ハ 菌體成分ノ生物學的作用ノ研究ノ上ニ一新機軸ヲ劃スルモノトシテ注目ニ値シタ。當日ノ演題ハ次ギノ通りデアツタ。

1. マンソン裂頭條蟲染色體ノ研究
柳井時正
2. 十二指腸蟲ノ非固有宿主經口の感染時ニ於ケル肺移行徑路ニ關スル實驗的研究
柳井時正
3. 十二指腸蟲ノ種屬特異性ト固有宿主ノ血液並臟器成分トノ關係ニ關スル實驗的研究
鈴木勝治
4. 沖繩産はぶ毒ト奄美大島産はぶ毒トノ免疫學的比較
田中哲之助
三宅忠雄
5. 舊蘭印産蛇毒ノ免疫學的研究特ニ本邦産並ニ佛印産蛇毒トノ比較
田中哲之助
三宅忠雄
6. 鼠「チフス」菌及ビ腸炎菌ノ縮緬狀集落變異ニ就イテ
豐田哲夫
岡本啓
7. 「コレラ」菌ノSR變異ニ伴フ特異物質ノ變異ニ就イテ
岡本啓
目黒庸雄

8. 「コレラ」菌特異物質ノ「モルモット」家兎並ビニ人ニ於ケル抗元性ニ就イテ
岡本啓
目黒庸雄
9. 「ヒヨリ」ンエステラーゼト「アナフィラキシー」耐性トノ關係ニ就イテ
中村敬三
土井利明
10. 結核菌ニ含マル、枝鎖脂肪酸ニ就イテ(綜説)
淺野三千三

學友會へ寄附

- | | |
|---------------|---------|
| 一金 22 圓 93 錢 | 二 神由紀彦君 |
| 一金 183 圓 86 錢 | 山本哲雄君 |
| 一金 10 圓 91 錢 | 中村敬三君 |
| 一金 15 圓 99 錢 | 板倉文彌君 |
| 一金 62 圓 26 錢 | 宮田彝徳君 |
| 一金 9 圓 79 錢 | 大橋久治君 |
| 一金 40 圓 74 錢 | 安藤正一君 |

人事異動報告

昭和18.10.5 現在

- | 月 日 | 記 事 | 職 名 |
|-------|-----------------------------|----------------------------------|
| 7. 31 | 任傳染病研究所技手
給入級俸 | 増山 忠俊
常松 之典
大高 裕一 |
| 7. 31 | 解囑 | 増山 忠俊
常松 之典 |
| 8. 3 | 任傳染病研究所技手
給九級俸 | 厚生省研
究所技手 佐藤 和男 |
| 8. 17 | 岐阜縣下へ出張ヲ命ズ
學術上取調ノ爲 | 技手 田中哲之助
自8月20日10日間
至8月29日 |
| 8. 20 | 依願免本官 | 技手 中村 敬司 |
| 8. 31 | 傳染病研究所業務ヲ囑託シ手當
1ヶ月金75圓給與 | 嵩 終三 |
| 8. 31 | 研究生退學(技術雇採用) | 外山 昂志 |
| 9. 1 | 東京帝國大學科學研究動員委員
會委員ヲ委囑ス | 教授 三田村篤志郎 |

9. 9 岡山縣下へ出張ヲ命ズ
 助教授 北岡 正見
 學術上取調ノ爲 自9月10日 4日間
 至9月13日
9. 10 大阪府下へ出張ヲ命ズ 技師 矢追 秀武
 學術上取調ノ爲 自9月11日 5日間
 至9月15日
 助教授 石井信太郎
 技手 荒川 清二
 技手 鴨脚 光増
 囑託 三苫やす子
9. 14 茨城縣下へ出張ヲ命ズ 助教授 北岡 正見
 學術上取調ノ爲 自9月16日 4日間
 至9月19日
9. 14 青森、北海道ノ一縣一道下ニ出張ヲ命ズ
 囑託 矢島 嘉清
 學術上取調ノ爲 自9月16日 14日間
 至9月29日
9. 15 大阪府下へノ出張延長ヲ命ズ
 技師 矢追 秀武
 取調事項増加ノ爲 自9月16日 3日間
 至9月18日
9. 15 北海道、青森ノ一縣一道下へ出張ヲ命ズ
 技師 遠山 祐三
 學術上取調ノ爲 自9月30日 8日間
 至10月7日
9. 15 研究生繼續許可 川端 豐作
9. 20 群馬縣下へ出張ヲ命ズ 教授 太田 正雄
 癩學會出席ノ爲 自9月25日 10日間
 至10月4日
 囑託 齋藤 弘徳
 囑託 宮内 繁子
9. 25 依願免本官 技手 荒川 清二
9. 25 傳染病研究所業務ヲ囑託ス 水谷 克巳
 阿部貞太郎
 宮崎 金波
 日置 治男
 矢戸 亮
 佐川 誠
 及川 泰彦
 岡田 昊昌

報 雜

オ芋掘り

一 決戦下食糧増産ノ線ニ沿ヒ。本所職員一同ノ勤勞奉仕ニヨツテ カネテ 植附シタ 甘藷畑ハ。ソノ後發育モ順調ニ。芋モ實ツテキタノデ。去ル10月30日(土曜日)午後1時ヨリ職員一同芋掘リヲ行ツタ。全收穫高ハ400貫ニ達シタ。コレ等ノ芋ハ代用食トシテ。本所食堂ヲ利用サレ。莖ヤ葉ハ動物飼料ニ利用サレルコトニナツタ。コノ芋畑ノ跡ノ食料品栽培利用ニツイテハ各部毎ニソレゾレ工夫スルコトニナツタ。

學術集談會

去ル10月21日(木曜日)本所講堂ニ於テ學術集談會ガ開催サレタ。矢追所員ノ「 Deng 」血清療法ニ對シテ活潑ナ討論ガ行ハレタガ。元來死亡例ノナイ經過ノ短イ「 Deng 」病ニ。血清效果判定ノ確立サレテ居ナイ血清ヲ用ヒ。少數例カラ效果ノ判定ヲ下スコトハ餘程ノ卓效ガ無ケレバ至難ノコトデ。議論ノアルコトハ當然デアラウ。今度ノ集談會ニ於ケル長谷川所員ノ結核發病阻止ニ關スル綜説ハ多年廣範ニ互ル研究ノ結晶テ聽衆會場ヲ埋メ 近來稀ニミル盛況デアツタ。特ニ「セハランチン」ノ類ニ對スル治療效果ニツイテ片鱗ヲ漏サレタガ注目ニ値シタ。尙當日ノ演題ハ次ギノ通りデアアル。

1. 人工的發熱時ニ於ケル血像竝ニ組織像ノ變化ニ就テ 松下 元次
2. 細菌ノ毒性竝ニ免疫原性ニ及ボス硫酸亞鉛ノ影響ニ就テ 高橋市五郎
3. 「パラチフス」A菌菌體成分ニ關スル研究 同菌菌體成分ノ「アナフィラキシー」抗原性ニ就テ 倉入 研一
4. 「ウエルシュ」菌(A型)菌體外毒素ノ耐熱性ニ就テ 飯高 孔。宮崎正之助 唐司 藏人。外山 昂志
5. 無肝動物ノ「アナフィラキシー」現象ニ就テ 中村 敬三。原 肆郎

6. 各型「シヨツク」ト「エオジノファイリー」

中村 敬三。原 肆郎

討論 田宮 猛雄

7. 「 Deng 」熱病毒ニ關スル實驗的研究第7報

昭和18年大阪ニ於ケル流行ニ際シ行ヘル血清療法ノ效果ニ就テ

矢追 秀武

荒川 清二

討論1

石井信太郎

討論2

小島 三郎

討論3

川喜田愛郎

8. 結核ノ發病防止ニ關スル研究(綜説)

長谷川秀治

學友會ニ寄附

金 45圓 02錢

岩田 昌一君

金 23圓 64錢

米倉秀雄君他5名

金 19圓 80錢

安井 廣君

金 15圓 01錢

矢追 秀武君

金 25圓 30錢

村江 通之君

金 21圓 08錢

五十嵐正治君

人事異動報告

昭和18年11月11日現在

月 日	記 事	職 氏 名
9.28	中華民國へ出張ヲ命ズ	教授 宮川 米次
10.1	研究生繼續	豐田 哲夫
10.11	研究生入學	關原 久郎
10.23	大阪府下へ出張ヲ命ズ	教授 細谷 省吾
	日本生化學會出席ノ爲	自10月28日 至11月1日
10.27	依願免本官	技手 鴨脚 光増
10.28	任傳染病研究所技手	江崎 唯人
	給六級俸	
10.29	傳染病研究所業務ヲ囑託ス	加倉井りん
10.30	依願免本官	技手 大 藪 卓